

資源循環ネットワーク形成及び拠点の戦略的構築に関する調査事業



【令和6年度補正予算額 1,000百万円】

資源循環ネットワークの形成及び拠点の戦略的構築を通じた、効率的なリサイクル体制の確保を図ります。

1. 事業目的

国内における効率的なリサイクル体制の整備のため、静脈産業のネットワーク化による再生材原料の「量」の確保や、拠点のリサイクル設備の整備による高度な処理技術の開発・実証・事業化による「質」の確保を目指す。さらに、中長期的な国内外の循環資源の需給バランスを考慮し、鉄スクラップ、E-scrap等の輸入を含め、我が国をハブとする国内外一体となった資源循環を促進し、我が国企業への再生資源の供給を強化・拡大する。

2. 事業内容

1. 資源循環ネットワークの形成及び拠点の構築に関する戦略策定業務

次の調査を通じた戦略策定を行う。

- ・ 循環資源等の移動量の実態調査（輸入も含む）
- ・ 既存の事例に基づく、必要な設備の拠点的配置の有効性の調査・評価
- ・ 海上物流も含めた物流ルート効率化による資源循環指標の改善やCO2排出削減効果に関する調査・検討（国土交通省と連携）
- ・ リサイクル設備の拠点的配置及び保管倉庫や検査設備等を事業者間で共有することによる現行制度上の課題抽出

2. FS事業（全国12カ所）

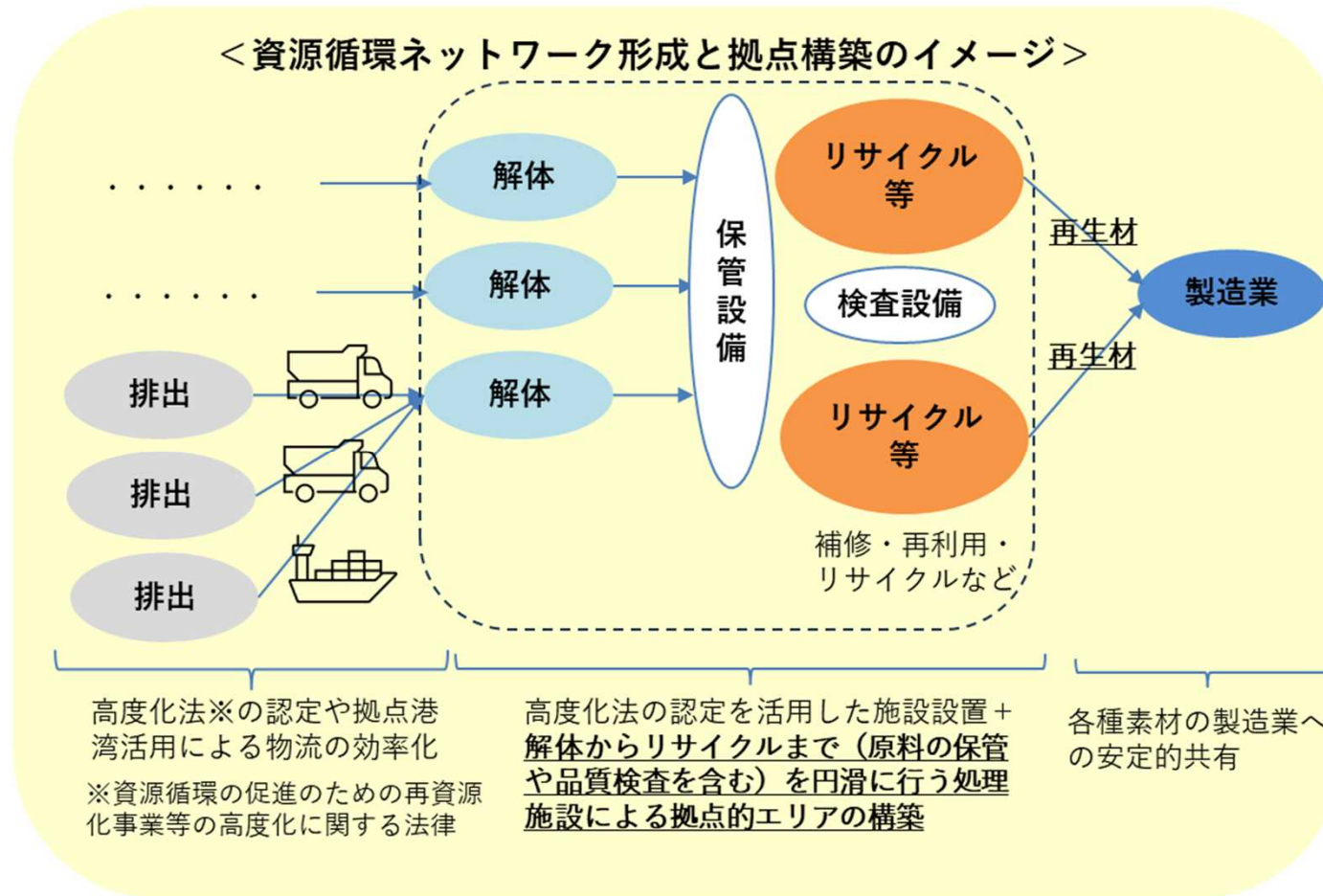
1.の調査を踏まえつつ、検討の熟度が早い個別事例について、立地自治体・事業者へのヒアリング等を行い、循環資源の供給ポテンシャル・輸送コスト等業界動向や市場状況、地域への経済波及効果を見極め、製造業への効率的な再生材供給のためのネットワーク形成及びリサイクル拠点のモデルケースを構築するためのFS事業を行う。

3. 事業スキーム

事業形態	請負事業
請負先	民間事業者・団体
実施期間	令和6年度



4. 事業イメージ



想定される循環資源

(例)

- ・金属スクラップ(鉄・銅・アルミ・レアメタル)
- ・電子スクラップ(e-scrap)
- ・リチウムイオン蓄電池
- ・使用済自動車(プラスチック)
- ・再エネ関連製品(風力、太陽光)
- ・廃食油(SAF等) 等

